



Codec C90



Codec C60



Codec C40



Codec C20



Quick Set C20/C20 Plus



SX20 Quick Set

**TC 5.1**



2012 年 2 月



Cisco TelePresence システム  
Profile シリーズ/Codec C シリーズ/Quick Set C20/SX20 Quick Set/MX200/MX300

# Cisco TelePresence Touch との連携



Profile 65" Dual



Profile 65"



Profile 52" Dual



Profile 52"



Profile 42"



MX200  
MX300

# このガイドの内容

本書上部のメニュー バーと目次の各項目には、すべてハイパーリンクが設定されています。クリックするだけで目的のトピックに移動します。

このガイドの改訂版が提供されていないか、シスコの Web サイトを定期的に確認することを推奨します。リンク先：<http://www.cisco.com>

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

本書では、Cisco TelePresence システム Profile シリーズ、Codec C シリーズ、MX200 SX20 Quick Set、および Quick Set C20 との連携で Cisco TelePresence Touch を使用方法について説明します。

上記ビデオ システムを Cisco TRC5 リモコン (MX200/MX300 では使用不可) を使って操作する方法については、リモコン付き TC5 のユーザー ガイドを参照してください。このガイドは別途ダウンロードして入手できます。

## はじめに

Touch コントローラの基本事項	4
自画面とカメラ操作	5
自局カメラのプリセットの追加	6
既存の自局カメラのプリセットの変更	7
既存の自局カメラのプリセットの削除	8
カメラのホワイトバランス、露出、逆光補正	8
サウンド	9
着信	9
着信音とサウンド	9
ヘルプ デスクへの発信	9
着信拒否	9

## 発信

名前、番号、アドレスを入力して発信	11
リストからエントリを検索して発信	12
リストのエントリへの発信	13
複数の相手に発信	14

## [お気に入り]、 [ディレクトリ]、[履歴] の使用

履歴	16
検索	16
ディレクトリ	16
お気に入り	16

## 通話中の機能

通話中の機能：概要	18
複数の参加者に発信して現在の通話に追加 (Multisite)	19
複数の参加者に発信して現在の通話に追加 (Multiway™)	20
別の相手からの着信	21
接続相手の保留と保留解除	21
グループ メンバーの保留と保留解除	22
グループ全体の保留と保留解除	22

現在の通話の転送	23
現在開催中の会議のメンバーの転送	24
自局カメラ操作	25
相手先カメラの制御 (通話中のみ)	25
通話中のタッチトーン (DTMF) の使用	25
自局カメラのプリセット	25
コンテンツの共有：プレゼンテーションの実施	26
レイアウト変更	27

## 会議のスケジュール

会議リストの確認	29
会議への参加	30
通話中の参加	30
会議の同時進行	30
進行中の会議の延長	30

## 設定

設定画面へのアクセス	32
システム情報	33
通信状態	34
言語	35
カメラ操作と設定	36
着信音とサウンドの設定	37
メインソースの選択	38
管理者設定：日時と場所	39
管理者設定：通話設定	40
管理者設定：IP 設定 (Codec)	41
管理者設定：IP 設定 (Touch コントローラ)	42
管理者設定：ペアリング	43
管理者設定：H.323 設定	44
管理者設定：SIP 設定	45
管理者設定：プロビジョニング	46
管理者設定：Multiway 設定	47
管理者設定：Web スナップショット	48
管理者設定：EMC レジリエンス モード	49
管理者設定：リセット	50
管理者設定：システムの再起動	51



# 第 1 章 はじめに

Touch コントローラの基本事項



操作の基本原則



必要に応じて、タッチ画面をタップするとシステムが起動します



ボタンをタップすると、その機能が有効になります



図のようにリストをスクロールします

自画面とカメラ操作



画面上で自分がどのように表示されるかを確認することができます。その場合は、図のように **【自画面】** をタップします。



カメラの調整が必要と思われる場合は、図のように **【カメラ操作】** をタップします。



必要に応じて、図のようにタップしてメニューを展開します。



[+] および [-] でズームを調整し、矢印キーでカメラの角度を調整します (1)。カメラを 2 台以上接続している場合は、ドロップダウンリストが表示されます。このリストから、調整するカメラを選択します (2)。

このメニューで、カメラのプリセットの定義や編集を行うこともできます。詳細は ▶ 「自局カメラのプリセットの追加」 (P. 6) を参照してください。

**【カメラ操作】** を開始した場合にも自画面が表示されますので、カメラの調整が必要な場合に、事前に自画面を有効にしておく必要はありません。



図のようにタップするか、メニュー以外の任意の場所をタップすると、**【カメラ操作】** は終了します。

## 自局カメラのプリセットの追加

カメラのプリセットを使用すると、カメラのパン、傾き、ズームを簡単に変更できます。たとえば、撮影対象を参加者にしたリホワイトボード上のプレゼンテーションにしたリというように切り替えることができます。



図のように **[カメラ操作]** をタップします。



...次に、図のようにタップしてメニューを展開します。



このドロップダウン リストは、カメラを 2 台以上接続している場合にのみ表示されます。

必要に応じてメニューを展開し、カメラのパン、傾き、ズームを調整します。2 台以上のカメラがシステムに接続されている場合、プリセットを適用するカメラをドロップダウン リストから選択します。



必要に応じて、下にスクロールして **[新しいプリセットの追加]** を表示し (1)、タップします (2)。



新しいプリセットの名前をキーボードで入力します。



**[保存]** をタップして (1) 変更を有効にしたら、メニュー以外の場所をタップして (2) 終了します。

## 既存の自局カメラのプリセットの変更

カメラのプリセットはいつでも変更できます。



図のように **[カメラ操作]** をタップします。



... 次に、図のようにタップしてメニューを展開します。



このドロップダウン リストは、カメラを 2 台以上接続している場合に表示されます。

必要に応じてメニューを展開し、カメラのパン、傾き、ズームを調整します。2 台以上のカメラがシステムに接続されている場合、プリセットを変更するカメラをドロップダウン リストから選択します。



必要に応じてスクロールし、更新するカメラのプリセットを表示したら **(1)**、そのプリセットの **>** をタップして **(2)**、メニューを展開します。



**[現在の向きに上書き]** をタップします。



メニュー以外の任意の場所をタップして終了します。

### 既存の自局カメラのプリセットの削除



図のように **[カメラ操作]** をタップします。



必要に応じてスクロールし、削除するカメラのプリセットを表示したら (1)、そのプリセットの > をタップして (2)、メニューを展開します。カメラを 2 台以上システムに接続している場合、カメラを選択できます。



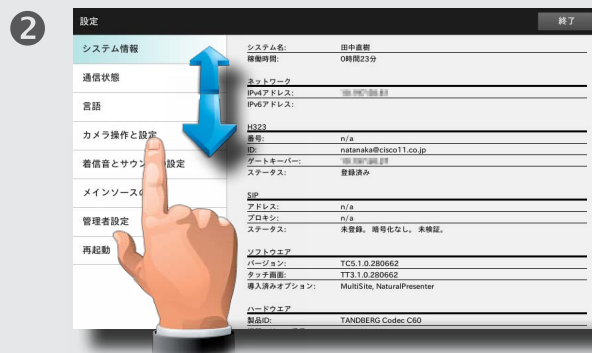
**[削除]** をタップします。

### カメラのホワイトバランス、露出、逆光補正

逆光補正は、背後の明るさを補正します。



図のように、**[その他]** をタップし (1)、続けて **[設定]** をタップします (2)。



**[カメラ操作と設定]** までスクロールします。このフィールドをタップします。



調整を行います。**[終了]** をタップして、変更を有効にします。カメラを 2 台以上接続している場合、ここに表示される設定は、メインのカメラにのみ適用されます。そのカメラがソースとして選択されているかどうかは関係ありません。



### サウンド

プライバシー上の理由から、必要に応じてマイクを無効にすることができます (1)。

図のようにタップして (2)、音量を調整します。



### 着信音とサウンド

着信音とサウンドを設定するには、[その他] (1)、[設定] (2) の順にタップします。次に、[着信音とサウンドの設定] (3) をタップします。



[キートーン] を [オン] または [オフ] に設定し、[着信音の音量] を設定して、好きな着信音を選択します。[終了] をタップして戻ります。

### 着信拒否

[着信拒否] に設定されている場合には着信音は消音され、かかってきた電話は不在着信として表示されます。

ただし、こちらから発信することは可能です。[着信拒否] を有効にするには、図のように [利用可] アイコンを押します。もう一度押すと、無効になります。



また、[表示しない] をタップして、[着信拒否] ポスターを非表示にすることもできます。この操作によって、[着信拒否] の設定が無効になることはありません。

### 着信

電話がかかってくると、下図のようなディスプレイが表示されます。電話に応答するときは [許可] をタップし、応答しないときは [拒否] をタップします。

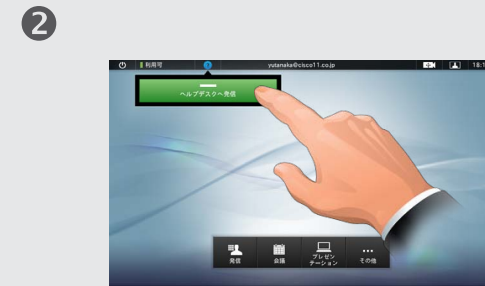


### ヘルプ デスクへの発信

ビデオシステムの設定上、ヘルプ (ヘルプ デスク) に発信できるようになっている場合があります。



図のように、青色のアイコンがあればそれをタップします。



図のようにタップして、ヘルプ デスクに発信します。



## 第 2 章 発信

名前、番号、アドレスを入力して発信



図のように **【発信】** をタップします。



**【検索またはダイヤル】**

フィールドをタップします (1)。

タップすると、仮想キーボードが表示されます。

☰ をタップすると、数字キーボードに切り替わります (2)。キーボードを QWERTY 配列に戻すには、ABC をタップします。

名前、番号、アドレスのいずれかを入力します (3)。



入力するにつれて、一致するエントリが発信リストやディレクトリにある場合、そのエントリが表示されます。この機能の詳細については、次のページを参照してください。



名前、番号、アドレスのいずれかを入力し終わったら、**【発信】** をタップして発信します。



**【終了】** をタップして、通話を終了します。

リストからエントリを検索して発信



図のように **[発信]** をタップします。



**[検索またはダイヤル]**

フィールドをタップします (1)。

タップすると、仮想キーボードが表示されます。  
 をタップすると、数字キーボードに切り替わります。キーボードを QWERTY 配列に戻すには、  
 をタップします。

番号または URI を入力します (2)。



入力するにつれて、一致するエン  
 トリが発信リストやディレクトリ  
 にある場合、そのエントリが表示  
 されます。



一致するエントリを見つけてタップします。



**[発信]** をタップして発信します。



**[終了]** をタップ  
 して、通話を  
 終了します。

リストのエントリへの発信



図のように **【発信】** をタップします。



... 次に、**【お気に入り】**、**【ディレクトリ】**、または **【履歴】** をタップします。



必要に応じて、エントリをスクロールします。



... 次に、発信するエントリをタップすると **(1)**、電話発信のダイアログボックスが表示されます。**【発信】** をタップして発信します **(2)**。



**【終了】** をタップして、通話を終了します。



**【お気に入り】:** **【お気に入り】** リストは、よく通話する連絡先、あるいは、簡単にアクセスできるようにしたい相手や場所の候補リストです。

**【ディレクトリ】:** **【ディレクトリ】** は、会社の電話帳として機能します。このディレクトリは、ユーザーは編集できません。ただし、エントリをお気に入りのリストにコピーして、そこで編集することはできます。

**【履歴】** には、前回リストがクリアされて以降の着信、発信、不在着信が一覧表示されます。

**キーパッド:** キーパッド アイコン をタップすると、キーパッドを表示して、数字または URI を入力できます。

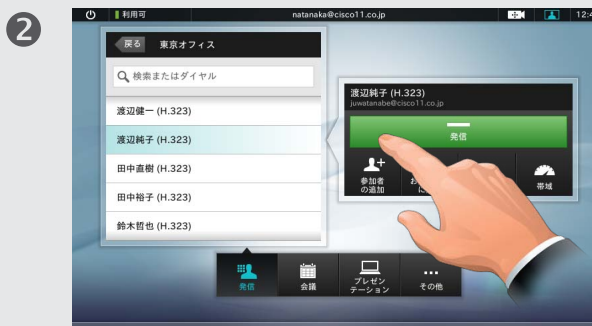
## 複数の相手に発信

複数の相手との通話はオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合もあります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



会議ができるようにシステムで設定されている場合、数人の参加者のリストを設定して、全員に一度に発信することができます。この機能を使用できるかどうか不明な場合は、管理者にお問い合わせください。

名前、番号、またはアドレスを入力するか、あるいは【ディレクトリ】、【お気に入り】のリスト、【履歴】からエントリを選択します。



次に、図のように【参加者の追加】をタップして、発信する参加者のリストにエントリを追加します。



1 人目と同じ方法で、発信する次の相手を見つけます。



【参加者の追加】をもう一度タップします。追加できる参加者の最大数は、システム設定によって異なります。この機能を使用できるかどうか不明な場合は、管理者にお問い合わせください。



全員（この例では 2 人）を追加したら、【発信】をタップして全員に発信します。



【終了】をタップすると、会議全体が終了します。参加者の 1 人のみとの通話を終了するには、画面下部に表示されている参加者の名前をタップして、【終了】をタップします。



## 第 3 章

### [お気に入り]、 [ディレクトリ]、[履歴] の使用

### 履歴

【履歴】には、前回リストがクリアされて以降の着信、発信、不在着信が一覧表示されます。

【履歴】をタップすると、リストが表示されます。



... 次に、エントリをタップします。

この後、次のことを実行できます。

- 【発信】をタップすると、このエントリに発信できます。
- エントリを現在の通話に追加します (オプション機能)。
- エントリを【お気に入り】に追加します。
- エントリ情報を編集してから、発信できます。
- 帯域の設定を変更できます。
- このエントリをリストから削除できます。
- リスト全体をクリアします。クリアするには、リストの上部が表示されるよう下にスクロールします (図を参照)。図のように、【リストのクリア】ボタンが表示されます。



### ディレクトリ

【ディレクトリ】は、会社の電話帳として機能します。このディレクトリは、ユーザーは編集できません。ただし、エントリをお気に入りのリストにコピーして、そこで編集することはできます。

【連絡先】(必要な場合) をタップし、【ディレクトリ】をタップします。通常、ディレクトリはフォルダとして構成されています。



フォルダをタップ (1) してその内容を表示し、必要に応じてスクロール (2) して、フォルダ内のフォルダやエントリを見つけます。

見つけたら、履歴リストの場合と同様に、エントリをタップして発信、編集、またはお気に入りのリストへの追加を行います。

ディレクトリからお気に入りのリストにコピーしたエントリが、その後ディレクトリで更新される場合があります。この場合、更新内容はお気に入りのリストに反映されません。したがって、お気に入りのリスト内のエントリを手動で更新する必要があります。

### お気に入り

【お気に入り】は、よく通話する連絡先、あるいは、簡単にアクセスできるようにしたい連絡先の候補者リストです。

【お気に入り】への追加: 【お気に入り】リストに相手を追加するには、【ディレクトリ】または【履歴】で目的のエントリを探し、見つけたらタップします (1)。ダイアログボックスが表示されたら、【お気に入りに追加】をタップします (2)。



このとき、必要に応じてエントリを編集できます。フィールドをタップすると、キーボードが表示されます。【保存】をタップし、変更を有効にします。



【お気に入り】は編集可能なディレクトリと見なすことができます。【履歴】と同じように使用します。

### 検索

エントリ (名前、番号、アドレス) は検索できます。検索はすべてのフォルダ内、つまり、【お気に入り】、【ディレクトリ】、【履歴】内を対象に実行されます。

【検索またはダイヤル】フィールドをタップし、名前、アドレス、または番号を入力します。検索対象と一致する項目が表示されます。

エントリを見つけたら、タップして発信、編集、または【お気に入り】への追加を行います。



企業ディレクトリ内で検索を実行する場合、検索対象は現在のディレクトリ フォルダとそのサブフォルダのみになります。1 つ上のレベルに移動するには、【戻る】をタップします。検索対象を企業ディレクトリ全体にするには、検索の開始前にフォルダを入力 (タップ) しないでください。





## 第 4 章

### 通話中の機能

通話中の機能：概要

**[着信拒否]** をオンまたはオフにします

**[カメラ操作]** では、自分のカメラのパンやズームを調整したり、カメラのプリセットを定義して使用することができます

**[自画面]** をオンまたはオフにします

選択したレイアウトの画面がここに表示されます (Multisite のみ)

画面上の画像のレイアウトを変更します (Multisite のみ)

参加者を追加して会議を作成します (オプション機能)

ここをタップすると、CUCM でスケジューリングされた会議が表示されます

コンテンツ (PC、ビデオ、ドキュメント用 カメラ など) を共有します

白いフィールドのここをタップすると、この参加者の側にあるカメラを制御したり、この参加者を通話から除外することができます

ここをタップすると、**[レイアウト]** や **[設定]** にアクセスできます

この参加者のマイクはミュートです

白いフィールドのここをタップすると、この参加者の側にあるカメラを制御したり、この参加者を通話から除外することができます

**[設定]** にアクセスできます

内線や会議の PIN コードに **[タッチトーン]** (DTMF) を使用します

現在の通話を終了します

参加者を保留にします



## 複数の参加者に発信して現在の通話に追加 (Multisite)

Multisite を使用した複数の相手との通話はオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合もあります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



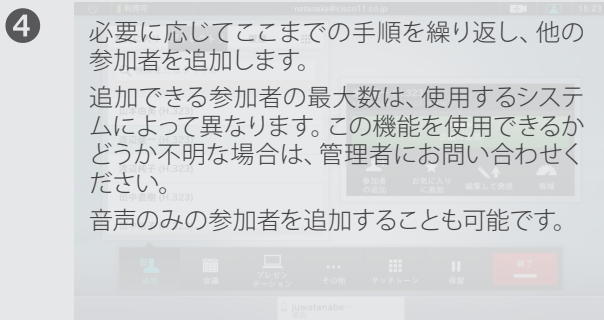
システムで許可されている場合は、通話中に参加者を追加できます。**[追加]** をタップします...



... 次に、現在の通話に追加する相手を通常の方法で選択します。



相手を選択したら、**[会議に追加]** をタップして、この参加者を会議に参加させます。



4 必要に応じてここまでの手順を繰り返して、他の参加者を追加します。  
追加できる参加者の最大数は、使用するシステムによって異なります。この機能を使用できるかどうか不明な場合は、管理者にお問い合わせください。  
音声のみの参加者を追加することも可能です。



**[終了]** をタップすると、会議全体が終了します。参加者の 1 人のみとの通話を終了するには、画面下部に表示されている参加者の名前をタップして、**[終了]** をタップします。

## 複数の参加者に発信して現在の通話に追加 (Multiway™)

Multiway™ を使用した複数の相手との通話はオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合もあります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



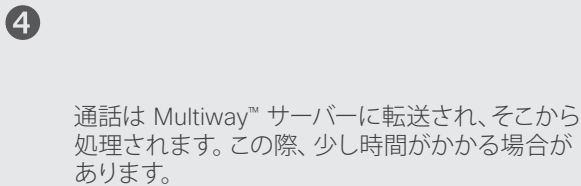
システムで許可されている場合は、通話中に参加者を追加できます。**[保留]** をタップして、現在の通話を保留にします。



次に、現在の通話に追加する相手を通常の方法で選択します。



相手を選んだら、**[発信]** をタップして、この参加者を会議に参加させます。



通話は Multiway™ サーバーに転送され、そこから処理されます。この際、少し時間がかかる場合があります。



準備が整うと、**[マージ]** ボタンが表示されます。このボタンをタップすると、画面下部の表示が**[会議]** に変わります。この際、少し時間がかかる場合があります。  
通話が Multiway サーバーに転送されて以降は、ポイントツーポイント通話であることには変わりはありませんが、通話の相手は Multiway サーバーになります。これは、他の参加者全員に当てはまります。



1 人が通話を切断するには、**[終了]** をタップします。Multiway サーバーとの通話を完全に切断するには、他の参加者も同じ操作をする必要があります。

### 別の相手からの着信

これはオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合があります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



現在通話中だとします。この通話は、ポイントツーポイント通話かマルチサイト通話かを問いません。ここで別の相手から電話がかかってきたとします。

このとき、次のいずれかを選択できます。

- **【許可してマージ】** をタップして、着信の相手を会議に参加させます。
- **【拒否】** をタップして、そのまま現在の通話を続行します。
- **【保留にして応答】** をタップして、着信に応答すると同時に現在の通話を保留にします。
- **【終了して応答】** をタップして、着信に応答すると同時に現在の通話を終了します。
- **【無視】** をタップして、そのまま現在の通話を続行します。着信を拒否したことは相手に知らせません。

グループ全体を保留にすることも可能です。言い換えると、上記のオプションはポイントツーポイント通話にもマルチサイト通話にも適用されます。

### 接続相手の保留と保留解除

これはオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合があります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



**【保留】** をタップします。接続先がただちに保留になります。



再開するには、画面下部に表示された名前をタップします。



**【再開】** をタップします。  
この操作をキャンセルするには、ダイアログボックスの外をタップします。

### グループ メンバーの保留と保留解除

これはオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合があります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



複数の相手と通話中であるとして  
ます。その場合、保留にする  
メンバーの名前をタップします。



ここで **【保留】** をタップ  
すると、選択した参加者は  
保留になりますが、他の参  
加者は保留になりません。



**【スワップ】** をタップすると、通話が再開  
すると同時に他の参加者が保留になります。  
**【マージ】** をタップすると、参加者全員との通話が  
再開されます。この操作をキャンセルするには、  
単にダイアログボックスの外をタップします。

### グループ全体の保留と保留解除

これはオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合があります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



複数の相手と通話中であるとして  
ます。グループ全体を保留にする場合  
は、単に **【保留】** をタップします。



グループとの通話を再開す  
るには、図のように **【保留中  
のグループ】** フィールドを  
タップします。



次に、**【再開】** をタップします。  
この操作をキャンセルするに  
は、単にダイアログボックスの  
外をタップします。

## 現在の通話の転送

これはオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合もあります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



1 通話中、図のように、画面下部に表示されている名前をタップします...



2 ... 次に **[転送]** をタップします。



3 ... 次に **[連絡先]** をタップします。



4 通常どおり、リストから転送先の相手を選択します。名前、番号、アドレスのいずれかを入力することもできます。



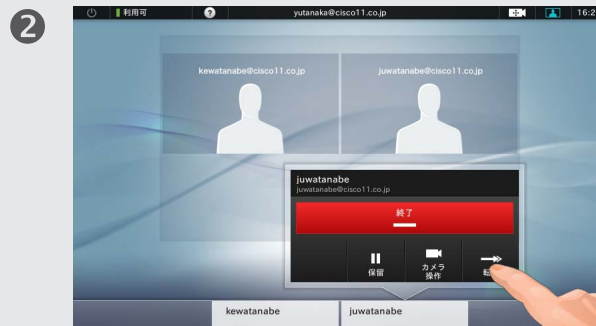
5 **[転送]** をタップして、転送を実行します。

### 現在開催中の会議のメンバーの転送

これはオプション機能です。システムによっては搭載されていない場合があります。この機能の有無がわからない場合は、システム管理者にお問い合わせください。



1 転送する相手をタップします...



2 ... 次に **[転送]** をタップします。



3 ... 次に **[連絡先]** をタップします。



4 通常どおり、リストから転送先の相手を選択します。名前、番号、アドレスのいずれかを入力することもできます。



5 **[転送]** をタップして、転送を実行します。



### 自局カメラ操作

このドロップダウン リストは、カメラを 2 台以上接続している場合にのみ表示されます。

- ①  **[カメラ]** アイコンをタップします...
- ②  ... 必要に応じて、ズームとパンを調整します。
- ③  メニュー以外の任意の場所をタップして終了します。

### 相手先カメラの制御 (通話中のみ)

この操作は、ポイントツーポイント通話でもマルチサイト通話でも機能しますが、システムに遠隔操作可能なカメラが搭載されている場合にのみ限られます。



- ①  画面下部に表示されている名前をタップします...
- ②  ... 次に、**[カメラ操作]** をタップします。
- ③  必要に応じて、ズームとパンを調整します。**[戻る]** をタップするか、メニュー以外の任意の場所をタップして終了します。

### 通話中のタッチトーン (DTMF) の使用

通信中にタッチトーン (DTMF) の入力を求められることがときにあります。これは通常、外線に連絡するためか、暗証番号コードを入力するためです。

- ①  **[タッチトーン]** をタップします...
- ②  タッチトーン キーパッドを使用します。
- ③  キーパッド以外の任意の場所をタップすると終了します。

### 自局カメラのプリセット

- ①  **[カメラ]** アイコンをタップします (通話中でも通話していない状態のときでもかまいません) ... このドロップダウン リストは、カメラを 2 台以上接続している場合にのみ表示されます。
- ②  既存のプリセットをタップして、カメラが設定どおりに動作するようにします。プリセットを定義する場合は ▶ 「自局カメラのプリセットの追加」 (P. 6) を参照してください。

- ③  **[カメラ操作を非表示]** をタップすると (①)、プリセットのみが表示されます。メニュー以外の場所をタップすると (②)、カメラのプリセットモードが終了します。

## コンテンツの共有：プレゼンテーションの実施

コンテンツを共有する際に、画面のレイアウトを変更できます（詳細は次ページを参照）。レイアウトの変更は通話中にしかできません。

1



コンテンツの共有は、通話中でも、通話していない状態のときでも実行できます。後者の場合、ビデオ システムを使用して、実際の会議室でコンテンツを共有できます。

開始する前に、プレゼンテーション ソースがビデオ システムに接続されていることを確認します。

2



**[プレゼンテーション]** をタップ します（通話中でも通話していない状態のときでもかまいません）...

3



... 次に、必要に応じて横にスクロールして、ソースを選択します...

4



**[表示]** をタップして、コンテンツの共有を開始します。

5



コンテンツの共有を停止するには、**[表示の停止]** をタップします。

## レイアウト変更

以下の説明は、プレゼンテーションを実行するすべてのマルチサイト通話およびポイントツーポイント通話に適用されます。



1 通話中に、画面のレイアウトを変更できます。  
変更する場合は、まず **[その他]** をタップします...



2 ... 次に、**[レイアウト]** をタップします...



3 ... 最後に、使用するレイアウトを選択します。



戻る  
メニューの 1 つ前に戻ります。

フルスクリーン  
話している参加者がフルスクリーンで表示されます。その人以外は表示されません。

プレゼンターを拡大  
話している参加者がメイン フレームに表示されます。他の参加者は、PiP (ピクチャインピクチャ) として表示されます。

プレゼンター  
話している参加者がメイン フレームに表示されます。他の参加者の画像は、メイン フレームの下に表示されます。

サイドバイサイド  
参加者全員が同じサイズのフレームに表示されます。

通話中にプレゼンテーションを行うと、参加者は全員、プレゼンテーションの下ではなく**上**に表示されます。このレイアウトにより、アイコンタクトをしているように感じられます。

フルスクリーンにプレゼンテーションのみが表示されます。

このレイアウト構成は、TC コンソール ユーティリティで変更を行えるようにはサポートされていません。TC5 デバイスを Touch と連携させている場合、変更操作は無視されますのでご注意ください。



## 第 5 章 会議のスケジュール

## 会議リストの確認

これはオプション機能です。



1 [会議] をタップして、このエンドポイントで予定されている会議のリストを表示します。



2 会議のリストには、14 日分の会議スケジュールが表示されます。リストはグループ ヘッダーごとにソートされています。主なグループ カテゴリは日別 ([ 今日 ]、[ 明日 ]、[ 木曜日 ]、[ 2011 年 10 月 26 日水曜日 ] など) です。



3 ビデオ システムでは、会議に参加できるようになると、会議リストの上部に会議リマインダが表示されます。会議リマインダが表示される正確な時間は、開始時間のバッファ設定の内容により異なります。デフォルトのバッファ設定は 10 分です。



4 リスト内の項目のいずれかをタップすると (1)、詳細情報が表示されます。図のように、[会議に参加] ボタンがグレー表示の場合、現在、会議への参加を許可されている時間ではありません。図のようにタップすると (2)、ダイアログボックスを展開して詳細情報を表示できます。



5 ダイアログボックスには、いつから会議に参加できるかも示されています。図のようにタップして、ダイアログボックスを縮小します。

スケジュールされた会議がプライベート会議として表示されると、主催者の情報のみが表示されません。会議のタイトル、展開画面の会議の概要、およびダイヤルイン情報は表示されません。

## 会議への参加

このページに記載された機能はすべてオプションです。



スケジュールされた会議の開催が近づく、と、リマインダが表示されます。会議に参加するには、図のように **[会議に参加]** をタップします (1)。これにより、「ダイヤルイン」アドレスに接続されます。会議のタイトル フィールドは展開できます。図のようにタップします (2)。



展開されたフィールドには、会議の詳細情報とダイヤルイン情報が表示されます。情報量により、スクロールできるようになっています。



会議に参加する以外にも、ここで **[スヌーズ]** をタップすると、一時的に 5 分間、リマインダが表示されないようにすることができます。リマインダを閉じるには **[表示を消す]** をタップします。

## 通話中の参加



通話中の場合、**[会議に参加]** ボタンは **[終了して参加]** に変わります。

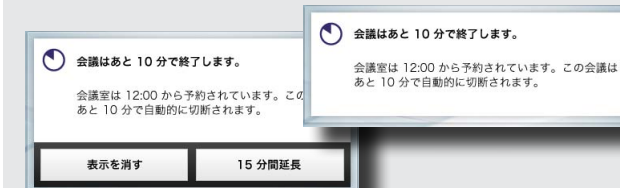
- 新しい会議に参加し、現在の通話を終了するには、**[終了して参加]** ボタンをタップします。
- 一時的に会議に参加するには、**[保留にして参加]** をタップします。
- 一時的に 5 分間リマインダが表示されないようにするには、**[スヌーズ]** をタップします。
- 現在の会議を継続するには、**[表示を消す]** をタップします。

## 会議の同時進行



会議が同時進行の状態 (2 つ以上の会議が同時に開催される状態) にある場合、リマインダには、会議リストに基づき、予定されているすべての会議が表示されます。参加する会議を選択し、選択した会議に参加します。

## 進行中の会議の延長



スケジュールされた会議の場合、開始時間と終了時間は固定されています。進行中の会議の場合、延長が必要になることがあります。延長は、その期間にビデオ システムで他の会議がスケジュールされていないことを条件に、システムが許可します。

延長が可能な場合、**[会議は～終了します]** 通知に、**[～分間延長]** オプションと **[表示を消す]** オプションが含まれます。

- 会議を延長する場合は、**[～分間延長]** ボタンをタップします。



## 第 6 章 設定

このマニュアルで使用方法が説明されているビデオ エンドポイントの設定は、タッチ画面コントローラか Web インターフェイスから行うことができます。設定可能なすべてのパラメータにアクセスするには、Web インターフェイスを使用します。Touch コントローラからアクセスできるパラメータは制限されています。

## 設定画面へのアクセス

設定画面にアクセスするには、次の手順に従います。



...これで、利用可能な設定画面にアクセスできます。他にもいくつか設定項目がありますが、Web インターフェイスからのみアクセス可能です。お使いのシスコ製品の管理者ガイドを参照してください。このガイドは別途ダウンロードして入手できます。



システム情報

**[システム情報]** ペインには、システムのソフトウェアやハードウェアのバージョン、接続、SIP、H.323 ステータスなどの情報が表示されます。

設定		終了
システム情報	システム名: 田中直樹 稼働時間: 0時間23分	
通信状態	<b>ネットワーク</b> IPv4アドレス: IPv6アドレス:	
言語		
カメラ操作と設定	<b>H323</b> 番号: n/a ID: natanaka@cisco11.co.jp ゲートキーパー: ステータス: 登録済み	
着信音とサウンドの設定		
メインソースの選択		
管理者設定 >	<b>SIP</b> アドレス: n/a プロキシ: n/a ステータス: 未登録。暗号化なし。未検証。	
再起動	<b>ソフトウェア</b> バージョン: TC5.1.0.280662 タッチ画面: TT3.1.0.280662 導入済みオプション: MultiSite, NaturalPresenter	
	<b>ハードウェア</b> 製品ID: TANDBERG Codec C60	

通信状態

**[通信状態]** ペインには、帯域や暗号化のほか、ビデオや音声の重要なパラメータに関する情報が表示されます。

設定
終了

システム情報	接続先URI:																																
<b>通信状態</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">帯域:</td><td style="width: 33%;">n/a</td><td style="width: 33%;">暗号化タイプ:</td><td style="width: 33%;">n/a</td></tr> <tr> <td>プロトコル:</td><td>n/a</td><td>暗号化状況:</td><td>n/a</td></tr> </table>	帯域:	n/a	暗号化タイプ:	n/a	プロトコル:	n/a	暗号化状況:	n/a																								
帯域:	n/a	暗号化タイプ:	n/a																														
プロトコル:	n/a	暗号化状況:	n/a																														
言語	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 25%;">ビデオ</th><th style="width: 25%;">送信</th><th style="width: 25%;">暗号化タイプ</th><th style="width: 25%;">受信</th></tr> <tr> <td>プロトコル:</td><td>n/a</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>解像度:</td><td>n/a</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>フレームレート:</td><td>n/a</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>帯域:</td><td>n/a</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>n<sup>o</sup>ケット入合計 (%) :</td><td>n/a</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>現在のn<sup>o</sup>ケット入 (%) :</td><td>n/a</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>ジッター:</td><td>n/a</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> </table>	ビデオ	送信	暗号化タイプ	受信	プロトコル:	n/a	n/a	n/a	解像度:	n/a	n/a	n/a	フレームレート:	n/a	n/a	n/a	帯域:	n/a	n/a	n/a	n <sup>o</sup> ケット入合計 (%) :	n/a	n/a	n/a	現在のn <sup>o</sup> ケット入 (%) :	n/a	n/a	n/a	ジッター:	n/a	n/a	n/a
ビデオ	送信	暗号化タイプ	受信																														
プロトコル:	n/a	n/a	n/a																														
解像度:	n/a	n/a	n/a																														
フレームレート:	n/a	n/a	n/a																														
帯域:	n/a	n/a	n/a																														
n <sup>o</sup> ケット入合計 (%) :	n/a	n/a	n/a																														
現在のn <sup>o</sup> ケット入 (%) :	n/a	n/a	n/a																														
ジッター:	n/a	n/a	n/a																														
カメラ操作と設定	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 25%;">音声</th><th style="width: 25%;">送信</th><th style="width: 25%;">受信</th></tr> <tr> <td>プロトコル:</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>帯域:</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>n<sup>o</sup>ケット入合計 (%) :</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>現在のn<sup>o</sup>ケット入 (%) :</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> <tr> <td>ジッター:</td><td>n/a</td><td>n/a</td></tr> </table>	音声	送信	受信	プロトコル:	n/a	n/a	帯域:	n/a	n/a	n <sup>o</sup> ケット入合計 (%) :	n/a	n/a	現在のn <sup>o</sup> ケット入 (%) :	n/a	n/a	ジッター:	n/a	n/a														
音声	送信	受信																															
プロトコル:	n/a	n/a																															
帯域:	n/a	n/a																															
n <sup>o</sup> ケット入合計 (%) :	n/a	n/a																															
現在のn <sup>o</sup> ケット入 (%) :	n/a	n/a																															
ジッター:	n/a	n/a																															
着信音とサウンドの設定																																	
メインソースの選択																																	
管理者設定 >																																	
再起動																																	

言語

**[言語]** ペインでは、Touch インターフェイスのメニューの言語を指定できます。

設定
終了

システム情報	
通信状態	
言語	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; gap: 10px;"> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> English</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> 简体中文</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Dansk</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Suomi</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Français</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Deutsch</div> <div style="text-align: center;"><input checked="" type="radio"/> 日本語</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Norsk</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Русский</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Español</div> <div style="text-align: center;"><input type="radio"/> Svenska</div> </div>
カメラ操作と設定	
着信音とサウンドの設定	
メインソースの選択	
管理者設定 >	
再起動	

## カメラ操作と設定

**【カメラ操作と設定】** ペインでは、カメラのホワイトバランスと露出を設定できます。手動で微調整しない場合は、**【自動】** を選択してシステムに任せます。

**【逆光補正】** は、背後が明るすぎる場合に便利です。逆光補正がないと、こちらの画像が相手に非常に暗い状態で見えてしまいます。

設定を選択したら、どのような内容が表示されるかに注意してください。例では、**【逆光補正】** は **【オフ】** に設定されています。

**注意：** システムにカメラを 2 台以上接続している場合、この画面の設定はメインのカメラにのみ適用されます。別のカメラがソースとして選択されている場合も同じです。

The screenshot shows a settings window titled "設定" (Settings) with a "終了" (End) button in the top right corner. On the left is a navigation menu with the following items: システム情報, 通信状態, 言語, **カメラ操作と設定** (highlighted), 着信音とサウンドの設定, メインソースの選択, 管理者設定 (with a right arrow), and 再起動. The main content area displays the following settings:

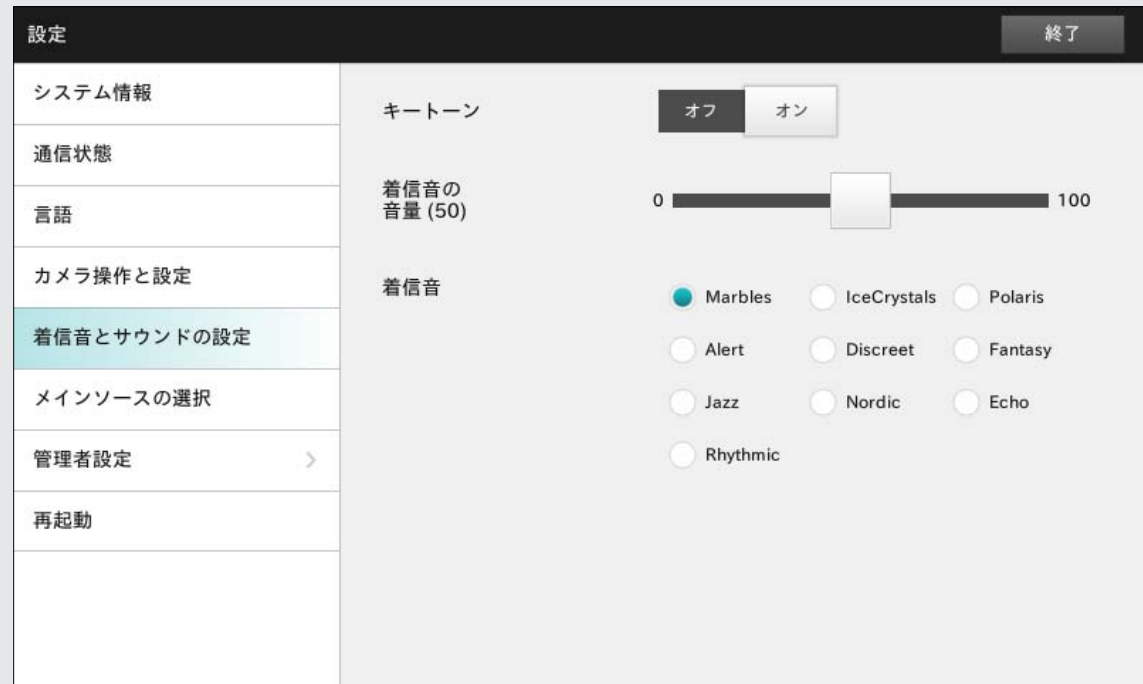
- ホワイトバランス**: 自動 (selected) / 手動
- ホワイトバランス (1)**: 1 [Slider bar] 16
- 露出**: 自動 (selected) / 手動
- 露出 (1)**: 1 [Slider bar] 31
- 逆光補正**: オフ (selected) / オン

## 着信音とサウンドの設定

**【着信音とサウンドの設定】** ペインでは、次の項目を設定できます。

- **【キートーン】** の [オン] または [オフ]。[オン] に設定すると、タッチ画面コントローラのフィールドをタップするたびに、サウンドが聞こえます。
- **【着信音の音量】**。着信音の音量を設定します。
- **【着信音】**。複数の着信音から選択できます。着信音のオプションをタップするとサンプルのサウンドが聞こえます。

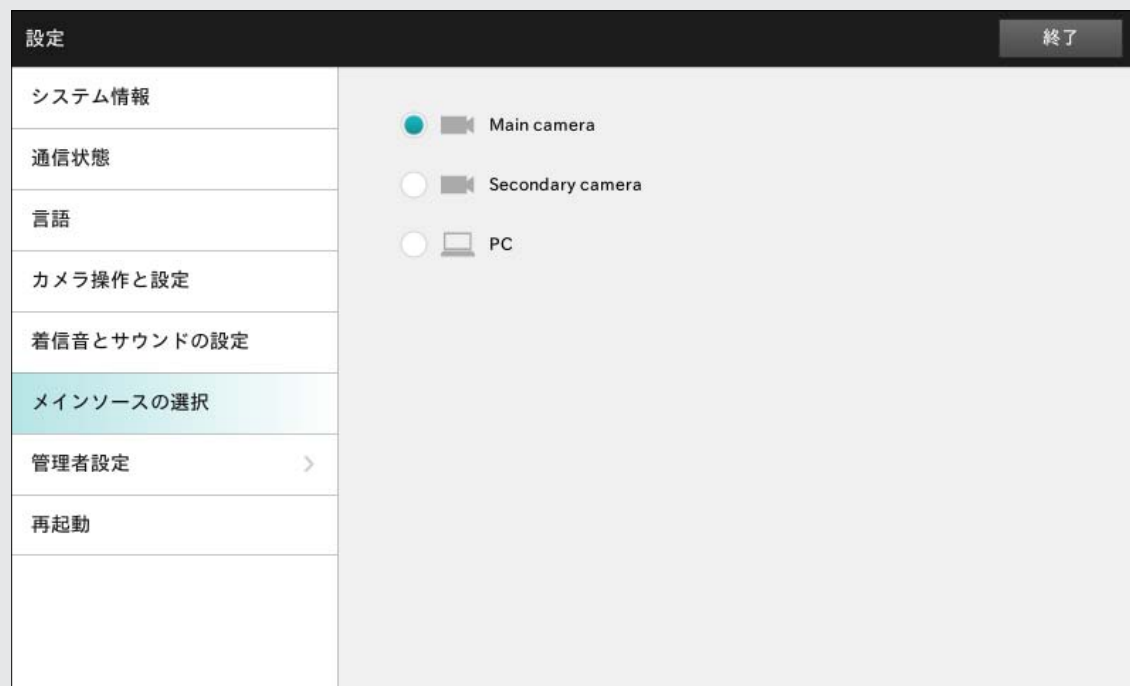
設定を選択したら、どのような内容が表示されるかに注意してください。例では、[キートーン] は [オフ] に設定されています。



## メインソースの選択

デフォルトでメイン ソースとして設定するものを選択します。システムの操作中に別のソースを選択することも可能ですが、これがデフォルトの設定になります。

**注意：** [カメラ操作と設定] の設定内容は、このメニューの設定に関係なく、メインのカメラにのみ適用されます。



管理者設定：日時と場所

**[日時と場所]** では、次の項目を指定できます。

- 時刻表記形式 ([24 h] または [12h])
- 日付表記形式 (いずれかを選択)
- タイムゾーン (いずれかを選択)
- 日付と時刻 ([自動] または [手動])

設定を選択したら、どのような内容が表示されるかに注意してください。例では、時刻表記形式は [24h] に設定されています。

The screenshot shows the '管理者設定' (Admin Settings) page with the '日時と場所' (Date and Location) section selected. The settings are as follows:

設定項目	現在設定
時刻表記形式	24h (12h is also visible)
日付表記形式	dd.mm.yy (mm.dd.yy and yy.mm.dd are also visible)
タイムゾーン	GMT+09:00 (Osaka, Sapporo, Tokyo)
日付と時刻モード	自動 (手動 is also visible)
NTPモード	自動 (手動 is also visible)
NTPサーバー	tp.tandberg.com

管理者設定 : 通話設定

**[ 通話設定 ]** ペインでは、次の項目を指定できます。

- **[ 自動応答 ]** の [ オン ] または [ オフ ]。これを **[ オン ]** に設定すると、着信に対して自動で応答します。マイクは消音されませんので注意してください。盗み聞きされたくない場合は、この設定を **[ オフ ]** にします。
- **[ 自動応答遅延 ]**。着信に対して、システムが実際に応答するまでの時間を指定します。
- **[ 標準帯域 ]**。容量に制限のある接続を利用している場合は、必要に応じてこの設定を使用します。
- **[ 最大受信帯域幅 ]** / **[ 最大発信帯域幅 ]**。これらは個別に指定できます。非対称接続を行っているときに、この設定を使用すると便利な場合があります。
- **[ 標準通信プロトコル ]**。デフォルトで使用するプロトコルを指定します。

設定を選択したら、どのような内容が表示されるかに注意してください。例では、[ 自動応答 ] は [ オフ ] に設定されています。

管理者設定	
日時と場所	自動応答 <input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
通話設定	自動応答遅延 - 3秒 +
ネットワーク設定 >	帯域
Webスナップショット	標準帯域 - 1920 +
EMCレジリエンスモード	最大受信帯域幅 - 6000 +
リセット	最大発信帯域幅 - 6000 +
	標準通信プロトコル <input type="radio"/> H323 <input checked="" type="radio"/> Sip



管理者設定 : IP 設定 (Codec)

Codec 用の **[IP 設定]** ペインでは、IPv4 を使用するか IPv6 を使用するかを指定できます。

戻る ネットワーク設定
終了

IP と VLAN - CODEC	IP設定	
IP と VLAN - TOUCH	IPバージョン	<input checked="" type="radio"/> IPv4 <input type="radio"/> IPv6
ペアリング	IP取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動
H323設定	IPアドレス	<input type="text" value=""/>
SIP設定	サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
プロビジョニング	ゲートウェイ	<input type="text" value=""/>
Multiway	DNSサーバー1	<input type="text" value=""/>
	DNSサーバー2	<input type="text" value=""/>
	DNSサーバー3	<input type="text" value=""/>
	DNSサーバー名	<input type="text" value=""/>

管理者設定: IP 設定 (Touch コントローラ)

Touch 用の **[IP 設定]** ペインでは、IPv4 (左下) を使用するか IPv6 (右下) を使用するかを指定できます。

戻る ネットワーク設定
終了

IP と VLAN - CODEC	IP設定
IP と VLAN - TOUCH	IPバージョン <span style="float: right;"><input type="radio"/> IPv4 <input checked="" type="radio"/> IPv6</span>
ペアリング	IP取得方法 <span style="float: right;"><input type="radio"/> 自動 <input checked="" type="radio"/> 手動</span>
H323設定	IPアドレス <input type="text" value=""/>
SIP設定	サブネットマスク <input type="text" value="255.255.255.0"/>
プロビジョニング	ゲートウェイ <input type="text" value=""/>
Multiway	リンク設定
	音声VLANモード <span style="float: right;"><input type="radio"/> 自動 <input checked="" type="radio"/> 手動 <input type="radio"/> オフ</span>
	音声VLAN ID <input type="text" value="0"/>

管理者設定:ペアリング

**【ペアリング】** ペインには、ビデオ システムの Codec と Touch コントローラのペアリングの状態が表示されます。

また、この 2 つのペアリングを解除するオプションも表示されます。

戻る ネットワーク設定
終了

IP と VLAN - CODEC	ペアリング対象: <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">XXXXXXXXXX</span> Codec C90
IP と VLAN - TOUCH	製品: <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">XXXXXXXXXX</span> Codec C90
ペアリング	H323 ID: <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</span>
H323設定	ソフトウェア: TC5.1.0.280662
SIP設定	IPアドレス: <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">XXXXXXXXXX</span>
プロビジョニング	シリアル番号: <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">XXXXXXXXXXXX</span>
Multiway	

管理者設定 : H.323 設定

**[H.323 設定]** ペインでは、次の項目を指定できます。

- **H.323 のエイリアス。**
- **H.323 ID。**
- **[ゲートキーパーの検出] ([手動] または [自動])。**
- 手動で検出するよう設定した場合は、**[ゲートキーパーアドレス]** も自分で指定する必要があります。
- **[認証モード]** の **[オン]** または **[オフ]**。**[オン]** に設定すると、ビデオ システムによって、認証用の**ログイン名**と**パスワード**がゲートキーパーに送信されます。

さらに、次のフィールドがあります。

- **ログイン名とパスワード**を入力する 2 つのフィールド。  
必要な場合は、英数字キーボードが表示されます。

注意事項：

- 変更を有効にするには、**[保存]** をタップしてください。

戻る ネットワーク設定
終了

IP と VLAN - CODEC	H323番号	<input type="text"/>
IP と VLAN - TOUCH	H323 ID	<input type="text"/>
ペアリング	ゲートキーパーの検出	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動
H323設定	ゲートキーパーアドレス	<input type="text"/>
SIP設定	認証モード	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
プロビジョニング	ログイン名	<input type="text"/>
Multiway	パスワード	<input type="text"/>

管理者設定 : SIP 設定

**[SIP 設定]** ペインでは、次の項目を指定できます。

- 使用する **URI**。
- **デフォルトのトランスポート層** ([TCP]、[UDP]、[TLS]、[自動] に設定可能)。
- **[プロキシタイプ]** では、[Standard]、[Alcatel]、[Avaya]、[Cisco]、[Microsoft]、[Nortel]、[Experimental]、[Siemens] に設定できます。  
[Experimental] は、テストのときに使用する設定です。
- **[発信]** はこのバージョンでは表示されません。
- **[プロキシの検出]** は、[自動] または [手動] に設定できます。[手動] に設定した場合、プロキシ アドレスは自分で指定する必要があります。
- **ログイン名とパスワード** は、VCS では必須です。

注意事項：

- 設定を有効にするには、**[保存]** をタップしてください。

The screenshot shows a configuration screen titled "ネットワーク設定" (Network Settings) with a "SIP設定" (SIP Settings) section highlighted. The settings are as follows:

設定項目	設定値
URI	[Redacted]
デフォルトのトランスポート	UDP
プロキシタイプ	Standard
プロキシの検出	自動
プロキシアドレス	[Redacted]
ログイン名	[Redacted]
パスワード	[Redacted]

管理者設定：プロビジョニング

プロビジョニングを使用すると CUCM、Callway または VCS に接続されます。いずれかを注文して受け取っている場合、必要な情報とコードもシスコから提供されています。ウィザードの指示に従ってください。



管理者設定 : Multiway 設定

TC シリーズのソフトウェアを使用するすべてのエンドポイントで、参加者が 3 人以上のビデオ会議を作成する手段として、Multiway を利用できます。

Multiway を適切に使うためには、一定のインフラストラクチャ製品やインストールが必要です。使用できるかどうか不明な場合は、シスコ パートナーにお問い合わせください。

この設定ページでは、Multiway 対応の MCU へのパスを入力できます。Multiway を機能させるためには、この入力が必要 です。

戻る ネットワーク設定 <span style="float: right;">終了</span>	
IP と VLAN - CODEC	Multiway設定
IP と VLAN - TOUCH	Multiwayアドレス <input type="text"/>
ペアリング	
H323設定	
SIP設定	
プロビジョニング	
<b>Multiway</b>	

管理者設定 : Web スナップショット

Web インターフェイスからビデオ システムにアクセスできます。アクセスの方法については、お使いのシステムの管理者ガイドを参照してください。このガイドは、www.cisco.com から個別にダウンロードできます。

Web インターフェイスから、システムビデオ ストリームのスナップショットを生成できます。また、状況によっては、接続先のシステムの発信ビデオからスナップショットを生成できます。

ただし、図に示すように、**[Web スナップショットを許可]** を **[オン]** に設定していない限り、スナップショットを取得できません。

こちらのシステムで **[Web スナップショットを許可]** を **[オフ]** に設定していても、接続先の相手側で、こちらのシステムが発信ビデオのスナップショットを取得することができます。

同様に、こちらのシステムで **[Web スナップショットを許可]** を **[オン]** に設定していれば、接続先の相手側で **[Web スナップショットを許可]** が **[オフ]** に設定されていても、接続先の発信ビデオのスナップショットを取得できます。

通話が暗号化されている場合、スナップショットは取得できません。**[Web スナップショットを許可]** パラメータがローカルでどのように設定されていても、暗号化されている場合、両方の側でスナップショット機能は無効になります。

Web スナップショット機能は、ポイントツーポイント通話にもマルチサイト通話にも適用されます (ただし、暗号化されていない通話に限ります)。





管理者設定: EMC レジリエンス モード

電磁雑音が大量に発生する環境でタッチ コントローラを使用している場合、明らかに誰も操作していないにもかかわらず、タッチ コントローラがタップされたかのような疑似信号が発生する可能性があります。

この現象に対処するには、**[EMC レジリエンス モード]** を **[オン]** に設定します。システムにタップ操作を認識させるため、タップしたらすぐに手を放すのではなく、しばらく押したままにする必要があります。これで疑似信号が発生しなくなります。



管理者設定：リセット

ビデオ システムのリセットが必要になる場合があります。その場合、設定内容、通話履歴、連絡先一覧などのすべてが失われます。インストールされているリリース キーとオプションは保持されます。



The screenshot shows the 'Admin Settings' (管理者設定) interface. On the left is a navigation menu with the following items: 日時と場所 (Time and Location), 通話設定 (Call Settings), ネットワーク設定 (Network Settings), Webスナップショット (Web Snapshots), EMCレジリエンスモード (EMC Resilience Mode), and リセット (Reset). The 'リセット' option is highlighted in light blue. The main content area on the right is titled '初期設定へのリセット' (Reset to Initial Settings) and contains a button labeled '初期設定へのリセット' (Reset to Initial Settings). Below the button, a warning message states: '初期設定へのリセットを実行するとユーザー設定が初期化されます。' (Resetting to initial settings will initialize user settings.)

管理者設定：システムの再起動

この機能を使用すると、システムを所定の方法で再起動できます。

設定
終了

システム情報	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>システムの再起動</span> <input type="button" value="再起動"/> </div> <p>システムを再起動すると、数分間使用できなくなります。</p>
通信状態	
言語	
カメラ操作と設定	
着信音とサウンドの設定	
メインソースの選択	
管理者設定 >	
再起動	

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標です。Cisco の商標の一覧は、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) でご確認ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。



シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL : <http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts/index.html>